

今こそ、『生きる力』を考える！

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言解除から約一か月。朝、ランドセルを背負って出かける小学生。自転車をこいで颯爽と走りゆく中学生。当たり前だった光景がとても意味のあることだったと思わされます。

長い休校期間を終え、登校する子どもたち。厳しい冬に耐え、やっと花開いた春のようです。少しばかり遅れていた学校生活が今動き始めました。

そのような中、ある教育雑誌の記事を目にしました。

「生きる力」

新型コロナウイルスに命が脅かされているから「生きる力」を重要視するわけではありません。長い休業期間、子どもたちはこれまで培ってきたはずの「生きる力」を発揮しているでしょうか。自分で時間の使い方をきめられる、思いもなかった時間を得ることができたのです。真の「生きる力」が身につけているならば、このような事態でも、学校からの指示（学習プリント等も含む）を待つことなく、自ら充実した時間を子どもたちは生み出すはずです。

（週刊教育資料 2020年5月18日号 『現場での活かし方』 玉置 崇 より抜粋）

この記事を読んで、「生きる力」という言葉が大きく迫ってきました。どのような状況にあっても自分のこれまでの力を総集して未来に向かわなければならない。それは全く新しいことを試みるのではなく、これまで、自分が得た知識や経験から状況を把握し、対応して生きていかなければならないということでしょうか。

さて、須賀川市が目指す『主体的・対話的で深い学び』はこのような状況の中でも次のように考え、授業を展開させることができます。

○主体的・対話的で深い学びの根っこは、一人残らず夢中にさせること。

○学び合いは、“話し合い”ではなく、“聴き合い”です。

これらに迫るには、授業課題の吟味が不可欠となり、児童生徒の授業への集中と参加がカギです。また、学び合いは、わからないときに「ねえ、教えて。」と言える“聴き合い”のできる学級づくりが基本にあります。

新生活スタイルを意識しながらも、学ぶ楽しさ、喜びを届けられる授業を目指したいものです。

逆境もよし、
順境もよし。

要はその与えられた
境遇を素直に生き抜く
ことである。

（松下幸之助の名言集より）

どんな状況下であっても、自分の行動を顧み、今をしっかりと生き抜かなければと思う言葉です。

集中する子どもたち



距離をとっての学び合い



朝のあいさつから始まる安心感

不登校ぎみや神経の細やかな児童生徒にとってはこのコロナ禍における緊急事態宣言は緊張と不安の連続です。

今できることを少しずつ実行することで児童生徒は安心感を取り戻せるはずです。まずは、一人一人の健康観察（検温の状況確認等）。子どもの表情をみとりましょう。そして、次に環境整備。換気や手洗いの励行に努めましょう。

今は非常事態と割り切って子どもに対する大人が、おおらかな気持ちでかかわることが必要なのではないのでしょうか。

「おはよう。」

「いいね。」

「ありがとう。」

「明日にしようか？」

こんな言葉で安心感をいっぱい！



教育研修センター西側駐車場に咲く「アザレア」。昨年の秋、フランターから、地植えをしたところ、今年また元気に花を咲かせてくれました。明るい話題に心穏ひと時です。



今年度の教育研修センター事業



今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏季休業中のセミナー研修は開催しません。しかし、今年度も「一人残らず、子どもたちのために」「子どもを真ん中」においた教育活動を目指し、現場の先生方のお役に立てればと下記の研修を随時行っております。

1 学校の要請に応じた支援・相談

校内研修会等の協力、および指導助言や教育相談を随時行っています。

2 養護教諭支援事業

子どもの学びの基盤を支える養護教諭のあり方について考える研修を担当指導主事とともに考えていきます。

3 教員ジャンプアップ研修

現在12校、25名の先生方からの申し込みがあり、担当指導主事が各校に訪問し研修を進めています。

<須賀川市教育研修センターTEL (0248) 72-7185・FAX (0248) 72-7186>

今年度の学校教育アドバイザーによる訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、8月から実施します。

須賀川市適応指導教室

「すこやか教室」始まる

学校再開と同時に「すこやか教室」も再スタートしました。

在籍校になかなか登校することができず、「すこやか教室」に通級する児童生徒。一人ひとりが自らの課題と向き合い学習を進めています。学習ドリルに向き合う時間。ものづくりに集中する時間。時には、指導員の先生とじっくり話をする時間もあります。そのような中で笑顔が戻ってくる子どもたち。いっぱい、自分の未来に向かって歩んでいます。

不登校等、児童生徒の状況を勘案し、必要な場合には保護者に「すこやか教室」の様子等も提供し、何らかの参考にしていただければ幸いです。



ALTの授業風景

「孔雀」生徒の折り紙作品です。

